



委員長報告全文はこちらをご覧ください。

## 産業建設文教委員会レポート

産業建設文教委員会  
委員長 井元福香 三実浩治 宏弘良賢  
副委員長 綾辻 池田松尾 日実 大村松口 謙吾茂生 近藤芳人

### 電気・燃油価格高騰対策支援事業やアルベルゴ・ディフーズタウン推進事業の進め方などを議論

**Q** 本事業を予算化した際の積算では、補助対象件数が1543件で、約2億1千万円以上の補助を見込んでいたと思うが、実績として550件補助額が約5700万円とあまりにも違いすぎる。当初の積算が甘かったのではないか。

#### 電気・燃油価格高騰対策支援事業

**Q** リース方式によるアスパラガスハウスの新規整備について、当初予定していた7戸の受益者のうち、1戸が遊休ハウスを利用することに變更した（あわせて入札執行等により事業費が減少したことから、予算を減額補正）とのことだが、市内には、まだ利活用できそうなビニールハウスがいくつかある。活用すれば希望者は無駄な投資をせずコストを抑えることができると思うが、遊休ハウスの活用が進まない理由は何か。

**A** 希望者の生活拠点とハウスまでの距離が遠いこと、アスパラガス栽培の場合、以前使用していたハウスに植え直しをしても生産性が安定しないこと、移設に対する投資が難しいことなどが主な理由である。

#### 園芸用リースハウス整備事業

## 総務厚生委員会レポート

総務厚生委員会  
委員長 松本正治 針尾全記 吉住威三  
副委員長 山内貴史 山内政夫  
委員 竹山俊郎 山内政夫

### 離島歯科医師報酬日額の見直しや消防職員定数の増員などを議論

平戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

**Q** 離島歯科医師確保の観点から報酬の見直しをすることは一定理解できるが、改定する報酬の最高日額が、現在のほぼ2倍となっている。報酬額の改定に対する交渉はしたのか。

**A** 今回の改正は、現在の歯科医師から処遇改善についての要望を受け、医師離島勤務手当相当分を加算することを提示した上で調整を重ねた。結果として、長崎県歯科医師会の派遣制度を参考に、通勤時間も就業時間として加算することとし、場合によっては遠方からの採用も想定されることから、上限額として最高日額を9万1千円と設定した。

**Q** 市内や近隣地域からの歯科医師確保に努めることとし、将来的に確保が困難な場合は、離島活性化基金を活用し、本土の歯科へ通院する際のフェリー代補助をすることも検討すべきではないか。

**A** 大島歯科診療所もリニューアルしたばかりの施設であること、現在の歯科医師体制になってから患者数も増加傾向にあることから、島民の歯科診療所の利用促進を図りながら、



令和4年2月に新設移転した大島診療所・歯科診療所

#### 平戸市職員定数条例の一部改正について

**Q** 救急件数の増加などによる補充勤務にかかる職員の負担増への対応や隔日勤務者の休日勤務のあり方を見直し、勤務環境を是正するため6人。女性活躍推進および男性消防職員の育児休業取得促進を図る上で、産休・育休などを取得しやすい環境整備のため3人。度島地区常備消防体制の整備のため3人。計12人を令和8年度に向けて増員するための改正との説明であり、働き方改革や女性消防職員採用の観点から定数増員に異論はない。ただし一度に12名を増員するのではなく、退職による欠員補充を優先しつつ、将来の人口推

**Q** (令和5年度当初予算に計上されている同事業にかかる増額補正だが)当初予算からの変更点は何か。

**A** 当初は本事業推進のエリアを1か所選定し開業していく予定だったが、今回、国の事業採択を受け、開業に向けた空き家調査などの調査事業が拡充された。この事業採択に伴いエリア内の距離の範囲は限定されることがなく、古民家を活用した宿泊

#### アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業(※)

**Q** 本事業の予算化にあたり当初積算する際、市内の事業所数や個人事業主などを正確に把握できていなかった。国の統計資料である経済センサスを活用して積算したが、細かい産業分類までは確認できなかったため、結果として当初の積算が大きくなりながら検討していききたい。

**意見** 本事業は関係機関も積極的に取り組む、先進事例が無いにもかかわらず本市が他市に先行して事業化したことは評価するところである。しかし、結果的に申請件数や補助金額が伸びなかったことについては真摯に受け止め、しっかりと分析した上で、次に生かしてもらいたい。

計なども見ながら十分協議し、定数変更をする必要があったのではないか。

**A** 今回の改正は定数の上限を定めるもので、実際の職員数は市民の理解が得られるよう、これまで以上に消防力の向上に努め、経費削減やDXの推進など業務の効率化にも努めながら検討を重ね決定していききたい。令和6年度から段階的に増員するため、9月の採用試験に間に合うよう6月定例会にて議案を提出した。

**Q** 度島地区常備消防体制については、消防業務に関する離島対策検討委員会でも十分検討されたのか。将来を見据えた離島の消防体制を検討委員会でも議論するとともに、離島よりも搬送に時間を有している地区なども含め、総合的な消防体制の計画を示し、適正な人員配置をすべきではないか。

**A** 度島地区常備消防体制の整備に伴う3名の増員は、大島と連携した体制の構築などを含めた計画を作成し、検討委員会で検討し、9月定例会の委員会において説明したのちに進める。(搬送に時間を要する)中南部地区などの消防体制は、中津良出張所の耐用年数のみにとらわれず、人口減少の推移や、火災・救急件数、消防団員数の推移等を見極め、具体的な検討を進めていきたい。

を中心としたまちづくりが前提となっている。国事業の採択により事業内容やエリアも拡大することで、開業は当初予定よりも遅くなるものの、事業推進エリアを市内3か所に拡大し、開業に向けて取り組んでいく。

**Q** 事業推進エリア3か所の選定と計画は今年度中に行うのか。

**A** 今年度はマーケティングなどの調査事業を行い、エリア選定を含む計画書を作り、マーケティングや開業に向けた価格設定、地域の資源を生かしたもので滞在時間を長くする方策などを調査する予定。令和6年度以降、当該計画書を基に運営事業者が国の補助事業に直接応募する方法で事業推進を図る。

**Q** 住民への周知啓発の範囲や、その内容はどうか。

**A** 今回選定予定の地区においてワークショップ等も活用した周知啓発を行う。

※アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)  
地域に分散された建物や空き家の活用のほか、既存の店舗などを含めた地域一体をホテルと見立てたイタリア発祥の考え方のこと。平戸市では令和5年度当初予算に本事業を推進するための経費が予算計上されている。

(議会だより vol.79 令和5年5月発行にも掲載)